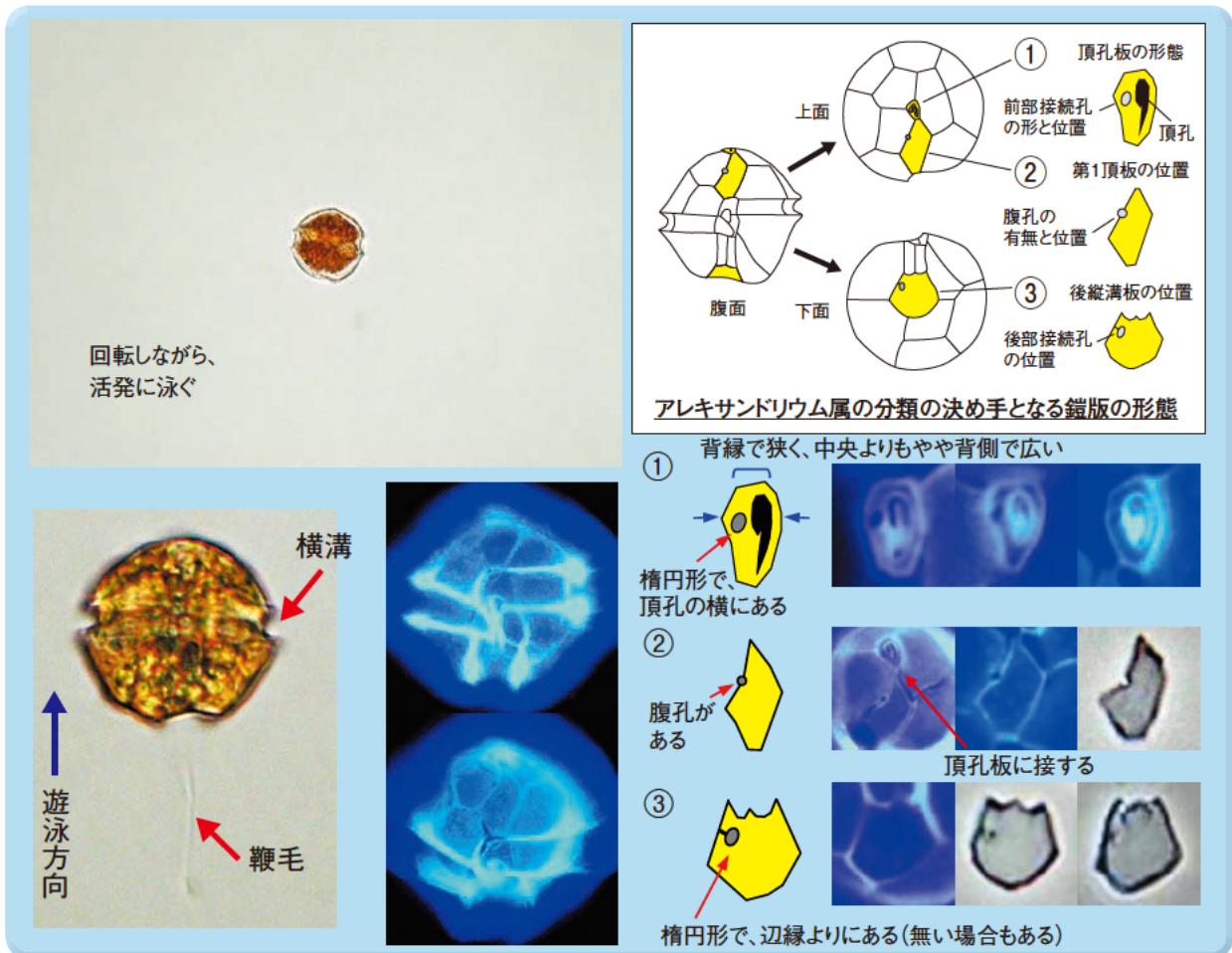


# アレキサンドリウム タマレンセ(渦鞭毛藻)

(*Alexandrium tamarense*)



**大きさ** 長さ26~38 $\mu$ m、幅27~44 $\mu$ m

**形態** 色は茶褐色。球形で、細胞の高さが幅よりもやや長い、ほぼ等しい。長い連鎖群はつならず、単体(1細胞)がほとんどで、稀に2細胞の連鎖群が見られるだけである。類似種のアレキサンドリウム カテネラ(*Alexandrium catenella*)とは、頂孔板(ちょうこうばん)の形態(図①)と第1頂板(だいいちちょうばん)の腹孔(ふっこう)の有無(図②)によって区別できる。

**動き** 回転しながら活発に泳ぐ。単体の細胞は、転がるような動きをすることもある。

**漁業への影響**：麻痺性貝毒を産生し、二枚貝のほか、二枚貝を捕食するカニ類(トゲクリガニ、イシガニなど)を毒化させる。マウス試験で基準値(4MU/g)を超えると二枚貝の出荷自主規制措置が講じられる。

**漁業被害**：二枚貝の出荷規制事例は、平成3年の鳥羽市(ムラサキイガイ)、平成18年の鳥羽市(ムラサキイガイ、マガキ)、的矢湾(マガキ)、などがある。

**発生海域**：伊勢湾~熊野灘沿岸(主に的矢湾以北) **発生時期**：2~4月頃